

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い — 高マグネシウム血症 —

2015年10月



酸化マグネシウム製剤服用中の患者さんで「高マグネシウム血症」を発症し、重篤な転帰をたどる症例が報告されております。

本剤を**長期間**投与している患者さん、**腎障害**を有する患者さんや**高齢**の患者さんでは**高マグネシウム血症を起こしやす**くなっております。特に便秘症の患者さんでは、**腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与**であっても、発症する可能性があります。

つきましては、本剤の投与に際しましては、「高マグネシウム血症」の**発症・重篤化防止**並びに**早期発見**のため、以下の事項にご留意いただけますようお願い申し上げます。

- ・処方の際には、**必要最小限の使用**にとどめてください。
- ・**定期的に血清マグネシウム値を測定**するなど高マグネシウム血症の発症にご注意ください。
(長期投与あるいは高齢者に投与される場合は特にご注意ください。)
- ・高マグネシウム血症の**症状があらわれた場合**には、服用を中止し、**直ちに医療機関を受診**するよう患者さんにご指導ください。*

高マグネシウム血症時の症状

血中Mg濃度	症状
4.9mg/dL～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2mg/dL	ECG異常 (PR、QT延長) など
9.7mg/dL～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2mg/dL～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

改変引用：中村 孝司. 日本医事新報 (3540) : 177-178 (1992)
木村 琢磨. JIM 18 (11) : 942-943 (2008)

※ご指導いただく際、リーフレット「酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さん・ご家族の方へ」をご活用下さい。リーフレットは、PMDA又は各社のホームページからダウンロードできます。